

子どもたちの

～聞いてみて・見てみて・触れてみて・気づいたことを表現しよう～

を引き出すための事業企画



“まなびっこ”アカデミーの  
『デミー』くんです。

福山市中部生涯学習センター 小川 佳江

★“まなびっこ”アカデミー  
★オープンキャンパス

よる  
～夜のローズコムが面白い!～

ほしさんいんぞう  
母子三人像

ほし  
プラネタリウム  
ひばくあおきりのお話し

よる  
星空ウォッチング

よる  
夜のとしよかん見学

とき 8月24日(土) 18時から20時30分

ばしょ まなびの館ローズコム

★しゅうこう ローズコム 4階 大会議室

★たいしょう 小学生・保護者(低学年は保護者と一緒です)

★定員 小学生50人(電話で申し込み・8/22(木)まで)

※水分補給は各自で用意してください

☆連絡先 生涯学習センター

☆でんわ 084-932-7265

まちバス50ポイント

もらえるよ!



# “まなびっこ”アカデミー オープンキャンパス開催!

★夏休み期間を活用して何かできないか?



★夏休みならではの体験!



★夜の図書館探検・・・面白い!  
一人よりふたり・・・みんなで企画



★思わぬ反響!



★続けてやりたい!



# “まなびっこ”アカデミーへ!

# ★事業（講座）企画のキーワード！

★要求課題と必要課題



★何を伝えたい？・何を大事にする？

★現代的課題の把握

★ねらいは？

★誰を対象に？何を？

★地域・家庭・学校・団体・企業・NPO等・どこと連携？

★幅広い視野を・・・

★到達点

★誰のための事業？

★学習機会の提供

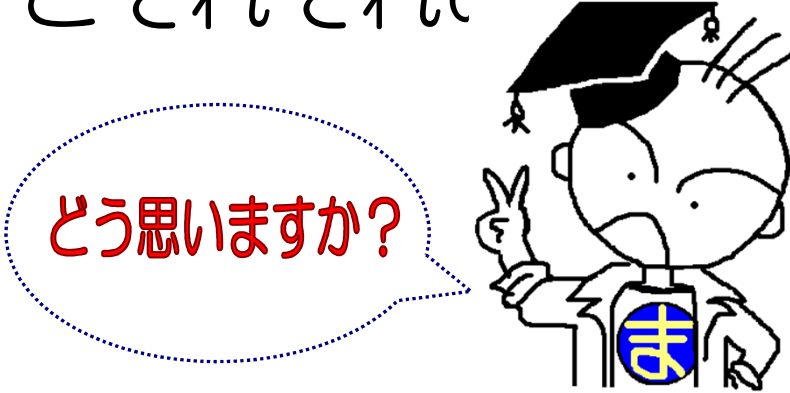


★どう評価するか

★基底にあるもの・・・人権



# ■子どもたちを取り巻く環境

- 学校・家庭・地域・・・子どもたちが生きる，育つ『居場所』とそれぞれの<sup>役割</sup>
- おとな社会の反映  どう思いますか?
- 子どものもっている本来の力をどこで・  
どう引き出していくのか?・・・今，問わ  
れていること

# “まなびっこ” アカデミー2013

## ■ねらい・目的

連続講座の中で、それぞれの認識や意識を高めることや、体験活動を通して子どもたちのもっている感性や好奇心・発想を引き出し、興味・関心をもって意欲的に取り組む力をつけることを目的とする。

## ■対象

小学校4年生から6年生

(定員30名 連続6回参加できる人優先)

## ■日時・場所

9月から2月までの期間

(毎月1回土曜日 10時から12時)

まなびの館ローズコム・中央公園・周辺地域など

# ★講座内容（6回連続講座）

日時	受講科目	内 容
9/21 (土)	生活 (せいかつ)	<b>■開講式</b> 「飛ばそう！ブーメラン 気持ちをひとつに」（雨天の場合内容が変わります） ※牛乳(ぎゅうにゅう)パック1本分持ってきてください。
10/19 (土)	人権 (じんけん)	話(はな)し合(あい) 「見(み)つけよう！みじかなくらしの中の宝物(たからもの)」
11/16 (土)	環境 (かんきょう)	「探(さが)してみよう！水辺(みずべ)の生(い)き物(もの)」
12/14 (土)	防災 (ぼうさい)	「見(み)て回(まわ)ろう！災害(さいがい)に強(つよ)いまちふくやま」
2014/ 1/11 (土)	社会 (しゃかい) ①	まち探検(たんけん)「こんなまちになったらいいな！子どもにやさしいまち ふくやま」①
2/15 (土)	社会 (しゃかい) ②	まち探検(たんけん)「こんなまちになったらいいな！子どもにやさしいまち ふくやま」① <b>■修了式(しゅうりょうしき)</b>



※まちパス対象事業

# ★毎回スタッフ全員で当日の流れを作成しました。

センター人権・社会教育活動事業 講座シナリオ(案)

1 事業名 “まなびっこ”アカデミー(だいがく)2013 第1講座生活科

2 ねらい 「飛ばそう、プーメラン～みんなの思いを一つに!～」

リサイクル工作をし、楽しみは工夫次第で創り出せることをまなぶ。また、個人遊びではなくグループ遊びを通して仲間との連帯感を感じさせ、2月まで続くアカデミーでの学習意欲を高めることを目的とする。

3 タイムスケジュールと役割分担

時刻	活動内容	役割	備考
～	横断幕ほか準備物	土井	横断幕 マイク 板書
17:30	会場準備(小2・会場レイアウト)	当日出席者全員	・流れ ・第1講座講師 ・3つの約束
8:30	会場準備(受付机)		はさみ、セロハンテープなど
9:00	講師到着 接待 会場案内(Evホール or 駐車場)	石井所長, 石田次長, 土井 案内(小川)	
9:30	受付開始	受付(松岡)	名札(台紙)を渡して、各自に作ってもらう。
10:00	開会	<p>■進行(土井)</p> <p>●みなさん、おはようございます。開講の前に今日の流れを確認します。これから、開講式をした後、第1講座「生活」科を始めます。待ちに待った「まなびっこ」アカデミーを開講します。私は、今日の司会を担当するドイです。よろしくお願ひします。</p> <p>●ところで、「アカデミー」の意味が分かる人はいますか?</p> <p>「大学」「研究所」など、ある事柄についてすごく詳しく学んだり、研究したりするところです。今日から、2月まで、みんなでいろんなことを学びあいます。そのために、お互いが気をつけなく</p>	

てはいけないことは、何でしょうか。  
①人の話を、最後までよく聞く。②それぞれの意見や考え方を受けとめる。③わからないことは質問する。この3つの約束を守って、楽しく学びましょう。

●次に、「まなびっこ」アカデミーの学長が開講の挨拶をします。  
■学長(石井所長)

■進行(土井)

●次に「まなびっこ」アカデミーの学長から、確認事項などの説明をしてもらいます。  
■学長(小川)

■進行(土井)

●大変お待たせしました。第1回講座「生活」課は、みんなでプーメランを作って飛ばしまし、今日の目的は、「気持ちを一つにする」です。プーメランを飛ばしたら、なぜ気持ち一つになるのか、それは、今日の講師が教えてくれます。講師の紹介をします。今日は福山市金江町にある「少年自然」で開かれます。日頃から子どもと関わっていられます。それでは、よろしくお願いします。

約1時間30分 ※観察(スタッフ) ・一人ひとりの子どもの状態(性格、集中力、読解力、理解力、対人関係など)

センター人権・社会教育活動事業 2014/01/08

10:10 第2講座開始

●今日は、今日もみなさんに御してもらいたいことがあります。  
①人の話を、最後までよく聞く。②それぞれの意見や考え方を受けとめる。③わからないことは質問する。この3つの約束を守って、楽しく学びましょう。

■進行(小川)

■タイムキーパー(土井)

●では、最初に自己紹介をしてもらいます。この前とは違うグループになりましたね。どうやって自己紹介してもらおうかな?「自分が普段呼ばれている名前を教えてください」

約1時間30分 ※観察(スタッフ) ・一人ひとりの子どもの状態(性格、集中力、読解力、理解力、対人関係など)

2014/01/08

センター人権・社会教育活動事業 2014/01/08

1 事業名 “まなびっこ”アカデミー(だいがく)2013 第2講座「人権」

「見つけようくらしのなかの宝もの～必要なものとほいもの～」

●『人権』は、人が生きていくために大切なものであることに気づく。  
※グループワークを通じて自分の意見を言う、人の意見をしっかりと聴く。  
※一人ひとりの『なぜそう思ったのか?』を掘り下げながら、様々な思いや意見があることに気づく。

2 ねらい

3 タイムスケジュールと役割分担

時刻	活動内容	役割	備考
～	当日用準備物	小川他	■横断幕・マイク 板書(約束事)
8:30	会場準備(中会議室・受付机等)	当日出席者全員(石田次・土井・松岡・河野良・小川)	■横断幕・マイク ■模造紙・給力ード
	■会場レイアウト	→机2脚×4グループ分	
	会場案内(Evホール or 駐車場)	案内(石田次長・河野良)	
9:30	受付開始	受付(松岡)	名札を確認しながら、各自に渡す。(各グループ別)
10:00	開会	<p>■進行(小川)</p> <p>●みなさん、おはようございます。私は、今日の進行を担当するオガワです。よろしくお願ひします。今日は、まなびっこアカデミー第2講座です。第1回「まなびっこアカデミー」はいかがでしたか?それでは始める前に今日の流れを確認します。</p> <p>今日は、この前とはまたメンバーも変わったかな?今日は、次の2つについて学習していきます。最初は「私たちが生きていく中で必要なもの」について、そして次に「言葉」について考えます。それぞれのグループでみんなの意見を出しながら進めていきます。最後までよろしくお願ひします。</p>	

＜模造紙・給力ードの入った封筒を配る＞

＜各班の様子を！てまわる。＞

こんな感じです・・・

# “まなびっこ” アカデミー開講式！

① 『生活』 → 体験活動を通じて子どもの意欲を引き出す。

今日の講師は“ゴルゴ”さん。みんな“心をひとつにして・・・”



アカデミーでしか  
学べないこと！  
をしっかりと学んでほ  
しいです。



飛んでけ、フューメラン！  
「もっと長く」「もっと遠くへ」・・・



## ※第1回 “まなびっこ” アカデミー「生活科」

### 「飛ばそう、フーメラン! ~気持ちをひとつに~」を終えて

#### ■新しい発見・気づき

- 体験からコミュニケーションへ・・・
- 同じ目的をもつことの大切さ・・・
- 子どもたちへの巧みな言葉かけで・・・
- 『個人カルテ』による観察・・・

#### ■ここが足りなかった点・課題

- ▲お膳立てしすぎ! ?
- ▲意識統一をいかに・・・



# 第2回 “まなびっこ” アカデミー「人権科」

② 『人権』 → 意見の多様性に気づき、それぞれ認め合う。



「今日は何するのかな？」



「今日の元気度は？」



“必要なもの” と “ほしいもの” ?

※ 今日の目標は . . .

- ① 自分の意見をしっかり言う ② 相手の意見をしっかり聞く ③ わからないことは質問する



「夢は必要と思うけど . . .」



「命」 や 「家族」 は大切



「ゲームは絶対にいる！」



グループごとに・・・こんな感じで分けました。



## ※第2回 “まなびっこ” アカデミー「人権科」

「見つけよう！くらしの中の宝物～必要なものとほしいもの～」を終えて



### ■新しい発見・気づき

○意見の多様性に気づく

○子どもたちの発想。例えば”犬”のカードでは「ただのペットならほしいが，盲導犬なら絶対必要」また，白紙のカードには「“命”や“家族”は絶対必要」

○子どもたちの振り返りから・・・『この勉強のおかげで必要なものやほしいものの区別もつきました』『班の人と協力して考えることができました』

### ■ここが足りなかった点・課題

▲『子どものもっている発想力を引き出す』を目的にしていたにもかかわらず・・・？

▲「聞いてくれなかった」の思いをどう次へつなげていけるか？

# 第3回 “まなびっこ” アカデミー「環境科」

③ 『環境』 →身近な体験を通じて，水環境について学ぶ。



冬眠中のカエル出現に  
みんなびっくり！

「道三川」昔と今



みんなの力で・  
こんな川に  
なりました。



## ※第3回 “まなびっこ” アカデミー「環境科」

### 「探してみよう！水辺の生き物」を終えて

#### ■新しい発見・気づき

○地域を流れる川の探検・観察することで、のびのびと活動できた。思った以上にたくさんの生き物発見！

○道三川～昔と今～

地域の方の思いを聞く中で・・・身近に感じることができた。

○自分たちができることは何だろう？

#### ■ここが足りなかった点・課題

▲時間配分のむずかしさ・・・体験と学習

▲「自然や環境」を守るために何ができそうか？



# 第4回 “まなびっこ” アカデミー「防災科」

④ 『防災』 → 「災害」への意識づけ・自分で何が出来るか考える。

今日は「おっかないお話」をします！



## 「避難所体験」



水が出ない。  
電気もつかない。  
・・・何が出来る？

## ダンボールの部屋作り



## トイレ作り

みんなで入ってみました。  
ここでずっと暮らすとどんな気持ち？



地震・台風・土砂くずれ・大雨にあったら・・・？

## ※第4回 “まなびっこ” アカデミー「防災科」

### 『みんなで考えよう！災害につよいまち』

#### ■新しい発見・気づき

○導入の「おっかないもの」の仲間分けから，災害についての意識づけとなった。

○実体験はないが，写真で見る・もし〇〇が来たら・・・？自分で想像したり考えたり，グループの中で話し合うことにより，今まで以上に身近には感じられた。

○模擬避難所体験・持っていくものランキング

#### ■ここが足りなかった点・課題

▲グループワークと体験活動の時間配分

▲こんな時どうする？をより身近に感じるための工夫→自分で考え行動できる力





# 第5回 “まなびっこ” アカデミー「社会科」

⑤『社会』→すべての人にとってのやさしい“まち”とはどんなことか?を発見する。



はじめてのまわローズ!

こんなもの発見!



何がやさしい? →



みんなの掲示板↑



ローラちゃん発見!

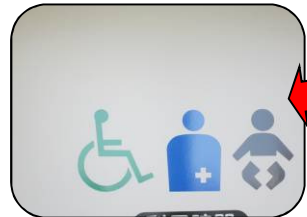


いつからこんなになった? →



ここは海拔2.1m

きれいなマンホール



多目的トイレには?



## ※第5回 “まなびっこ” アカデミー「社会科」

「こんなまちになったらいいな！子どもにやさしいまち ふくやま①」

### ■新しい発見・気づき

○おとなにはない子どもたちの気づきや発見もあった。

○コースが限られていることもあったが、自分が実際に住んでいる地域と比べながら意見をだすこともあった。

○普段気づかない・しっかり見ていないことが少しではあるが発見できた。

### ■ここが足りなかった点・課題

▲事前におさえるポイントをしっかりおとすことも必要だった（コース地図などにポイントをチェックするなど）子どもとおとなの気づきの違い→おもしろいとは思ったが・・・

# まだまだ現在進行形・・・とはいえ・・・そろそろまとめに・・・

⑥『社会』→すべての人にとってのやさしい“まち”とはどんなことか？を発見する。

→自分に何ができるか・どんなことを大切にしていけるかを考える。

(環境にやさしい・あってよかった・危ないと思ったこと・初めて見た!等)

■体験することによって・・・。

■ねらいを明確にする

■内容の工夫・発想→共有すること

■原点に戻る ■どう評価するか

ご清聴ありがとうございました

